

平成 29 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社アスラポート・ダイニング
代表者名 代表取締役社長 森 下 將 典
(コード番号 3069 J A S D A Q)
問合せ先 法務総務部長 尾 崎 富 彦
(TEL. 03-6311-8892)

ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 の第三者割当増資の引受（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社（本社：香川県小豆郡 代表者、檜垣周作、以下、「JFLA」といいます。）が実施する第三者割当増資の引受を決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、当社の同社への出資比率は 31.69% となり、持分法適用関連会社となります。

記

1. 第三者割当増資の引受の理由

当社は、焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で 713 店舗（平成 29 年 5 月 31 日現在）を展開しており、平成 25 年度より新たに「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ外食（販売）事業から流通及び生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。そして、その目標を達成するための 4 つの戦略「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」を掲げ、更なる成長を目指しております。

JFLA グループは、JFLA と連結子会社 12 社及び持分法適用関連会社 3 社で構成され、食品類・酒類事業及び輸入食品類・酒類販売事業等を営んでおります。具体的には、JFLA は、グループ管理を行っており、盛田株式会社（以下「盛田㈱」といいます。）等は、醤油などの調味料、清酒、漬物及び飲料等を製造・販売し、株式会社アルカンは、主にヨーロッパ等からフランス料理等の食材やワイン等を輸入・販売し、また、平成 29 年 2 月に新たに子会社化した東洋商事株式会社は、国内で食品、酒類及び資材等を取り扱う総合卸売業をしております。JFLA グループは、中期経営計画（平成 28 年 9 月期～平成 30 年 9 月期）で「事業戦略」「人材戦略」「財務戦略」の 3 つの戦略を掲げ、総合食品アライ

アンス企業として外部提携・M&Aも推進しつつ、消費者ニーズにあった商品を開拓・開発・アピールすることで、業界での存在感を確立させ事業基盤を強化するとともに収益性の向上を図っております。

当社とJFLAは、平成27年6月12日に業務資本提携契約を締結し、国内における両社グループの事業基盤を活用した販路の拡大及び営業力の強化、両社グループの食品製造機能を活用したPB商品及びオリジナル商品の共同開発、海外事業のための輸出入及び現地での展開に関する協業等を図っております。その後、平成28年2月に当社の代表取締役会長である檜垣周作がJFLAの代表取締役社長に就任した後、平成28年7月の第三者割当増資で当社が主要株主となり、また、平成29年3月には無担保転換社債型新株予約権付社債の引受をするなど、両社グループのシナジーを追求できる環境を整えております。今回の第三者割当増資の引受によりJFLAが取得する資金の用途は、借入金の返済、原材料の調達及び工場設備投資とされておりますが、この中で設備投資については、同社の中期経営計画の達成には欠かせない投資となります。いずれも両社グループのシナジー追求に沿った一環であり、また、JFLAの中期経営計画の「財務戦略」「事業戦略」にも合致しております。

当社とJFLAは、同社の財務基盤の健全化や、上記記載の施策の実施による当社の売上拡大や収益への寄与の目的を達成するには、両社のシナジー効果をさらに加速させ、中長期的な関係を緊密にすることが必要不可欠であるとの認識が両社間で生じ、そのためには資本関係をより一層強化することが最も有効であるとの結論に達しました。そこで当社による第三者割当増資に伴う資金提供が、JFLAの中期経営計画の達成のためには必要不可欠であり、また、当社の企業価値の向上にも資すると判断し、同社の第三者割当増資を引受することを決議いたしました。

2. JFLAの内容

平成29年3月31日現在

(1) 名 称	ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 (英文名：JAPAN FOOD & LIQUOR ALLIANCE INC)
(2) 所 在 地	香川県小豆郡小豆島町苗羽甲 1850 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 檜垣 周作
(4) 事 業 内 容	食品関連企業グループの企画・管理・運営 (持株会社)
(5) 資 本 金	3,757 百万円
(6) 設 立 年 月 日	昭和 19 年 7 月
(7) 発 行 済 株 式 数	136,925,670 株
(8) 決 算 期	9 月 30 日
(9) 従 業 員 数	(連結) 642 名
(10) 主 要 取 引 銀 行	三菱東京UFJ銀行
(11) 大株主及び持株比率	株式会社田中文悟商店 10.68%

	株式会社アスラポート・ダイニング	10.43%
	BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED (常任代理人 パークレイズ証券(株))	5.82%
	株式会社ファミリーショップワタヤ	4.47%
	株式会社SBI証券	2.23%
	富春 勇	1.95%
	日本証券金融株式会社	1.52%
	楽天証券株式会社	1.36%
	敷島製パン株式会社	1.22%
	山田 浩史	0.79%

(12) 当事会社間の関係

資本関係	当社はJFLA株式14,287,000株(発行済株式総数に対する割合10.43%)を保有しております。
人的関係	当社の代表取締役会長の檜垣周作がJFLAの代表取締役社長を兼任しております。
取引関係	当社とJFLAは平成27年6月12日に業務資本提携契約を締結しております。また、当社とJFLAは事務所の賃貸借取引があります。
関連当事者への該当状況	上記の資本関係、人的関係及び取引関係から、JFLAは当社の関連当事者に該当します。

(13) 最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	平成26年9月期	平成27年9月期	平成28年9月期
連結純資産	3,360	5,254	5,412
連結総資産	22,858	23,069	21,713
1株当たり連結純資産(円)	49.44	45.09	44.28
連結売上高	25,102	24,425	23,849
連結営業利益	431	578	652
連結経常利益	50	181	239
親会社に帰属する当期純利益	186	77	111
1株当たり連結当期純利益(円)	2.74	0.83	0.95
1株当たり配当金(円)	0	0	0

(単位:百万円。特記しているものを除く。)

※大株主及び持株比率並びに当事会社間の関係の資本関係の比率における割合は、小数点以下第3位を切り捨てして算出しております。

3. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

①異動前の所有株式数	14,287,000株 (議決権の数：14,287個) (議決権所有割合：10.44%)
②取得株式数	42,553,200株
③取得価額	2,000,000,400円(1株あたり47円)
④異動後の所有株式数	56,840,200株 (議決権の数：56,840個) (議決権所有割合：31.69%)

4. 日程

①取締役会決議日	平成29年7月14日
②契約締結日	平成29年8月1日(予定)
③払込期日	平成29年8月1日(予定)

5. 今後の見通し

当期の業績に与える影響は軽微と考えられますが、中長期的に当社グループの業績向上に寄与するものと考えておりますが、今後の業績に重要な影響が見込まれる場合は速やかに公表いたします。

以上